



平成27年10月30日

各位

上場会社名 株式会社アミューズ
 代表者 代表取締役社長 畠中 達郎
 (コード番号 4301)
 問合せ先責任者 執行役員 宮腰 俊男
 (TEL 03-5457-3302)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表しました平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,920	3,630	3,640	2,430	281.50
今回修正予想(B)	30,580	5,140	5,170	3,320	384.66
増減額(B-A)	4,660	1,510	1,530	890	
増減率(%)	18.0	41.6	42.0	36.6	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	21,078	2,571	2,654	1,670	193.54

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,700	4,300	4,330	2,820	326.68
今回修正予想(B)	46,500	5,600	5,640	3,650	422.90
増減額(B-A)	4,800	1,300	1,310	830	
増減率(%)	11.5	30.2	30.3	29.4	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	39,208	3,924	4,067	2,671	309.50

修正の理由

(1) 平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

平成28年3月期の連結業績予想は、主に第2四半期(累計)に各アーティストのメモリアルなコンサートツアー等を集中的に計画し、その運動によりグッズ販売収入も増加する計画でありました。さらに、昨年よりの新連結子会社におけるアーティストマネージメント事業の伸長や、新規事業であるプレイスマネージメント事業の増加も見込み、過去最高の営業収入、営業利益を計画いたしました。

当該第2四半期におきましては、アーティストマネージメント事業のコンサートツアーやライブの営業収入が好調に推移したことや、当初第3四半期において計画していたツアーの一部が、第2四半期に実施されたこともあり、当初の計画に比べ、動員数が増加し、協賛金収入や会場で販売しております関連グッズの販売も増加したことから大幅な増収増益となりました。

以上の結果、営業収入は当初の計画に比べ18.0%増の30,580百万円と大幅な増収となる見込みであり、上記のとおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、増収に伴って大幅な増益となる見込みであります。

(2) 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期通期連結業績は、第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正に加え、アーティストマネージメント事業の営業収入は、引き続き好調に推移する見込みですが、第3・第4四半期のプレイスマネージメント事業は入場者数の減少等による減収、減益を見込んでおります。

以上の結果、営業収入は当初の計画に比べ11.5%増の46,500百万円と大幅な増収を見込んでおり、上記のとおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、主に増収要因により、大幅な増益となる見込みであります。

(注)上記業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上